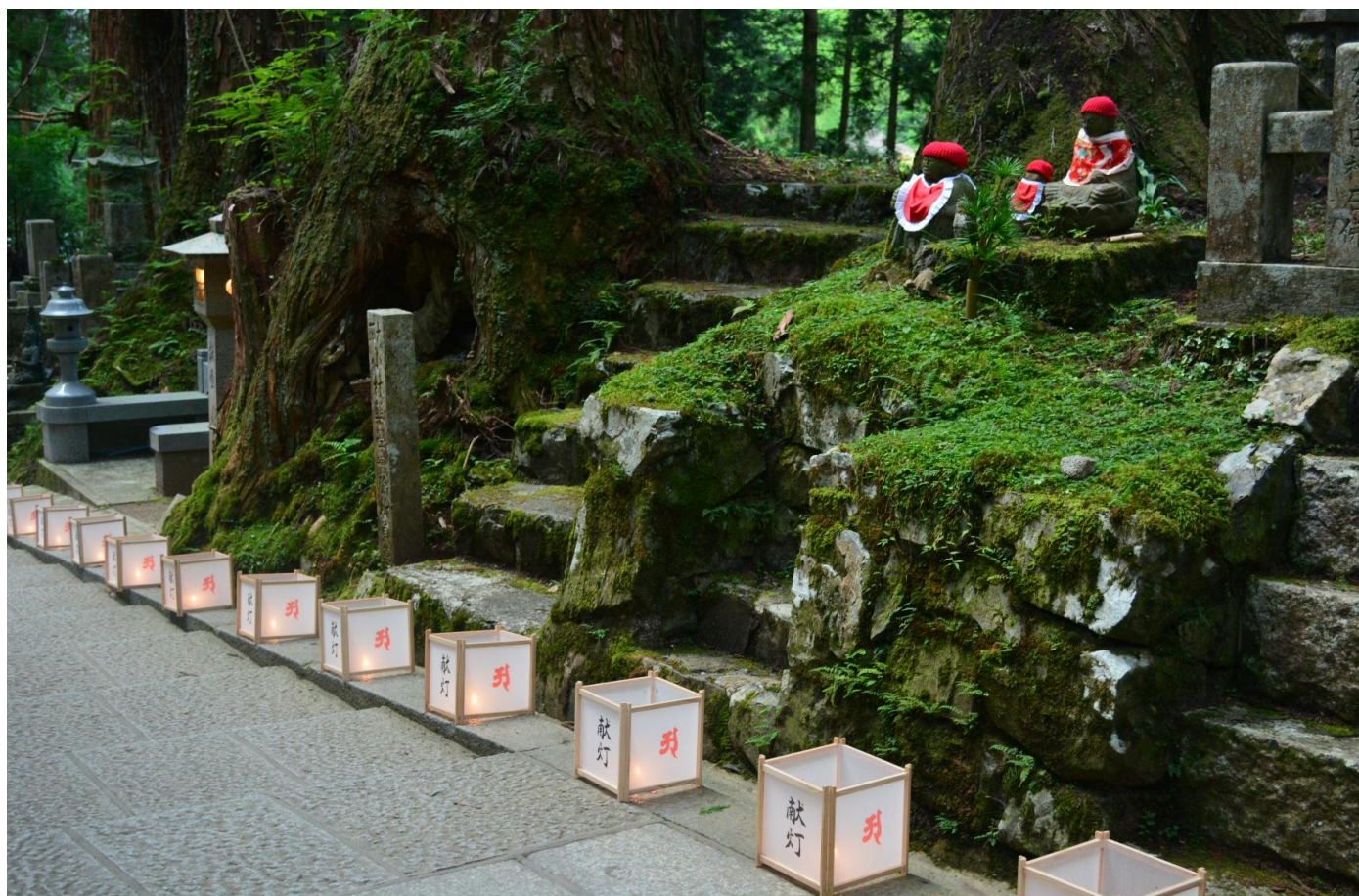


和歌山だより

2026年 第191号
(令和8年)



萬燈供養会（高野山ろうそく祭り）（高野町）

毎年8月13日に高野山で開催される萬燈供養会（高野山ろうそく祭り）。一の橋から奥之院までの約2kmの参道に幻想的な光を灯した約10万本のローソクが並びます。荘厳な雰囲気の中、先祖をはじめ奥之院に眠るすべての御霊を供養するお祭りです。

（写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟）

CONTENT

- | | | |
|---|-------------------|------------|
| 1 | 知事メッセージ | p. 1 |
| 2 | 和歌山県政トピックス . . | p. 2 ~ 9 |
| 3 | お知らせ | p. 10 ~ 21 |
| 4 | ふるさと歳時記 | p. 22 ~ 23 |



和歌山の可能性を、確かな未来へ

知事就任以来、現場主義を掲げ、一心不乱に走り続けてまいりました。県民の皆さまとの対話を通じて、未来を切り拓く大きなポテンシャルを肌で感じています。

本県の基幹産業である梅やみかんなどの第一次産業は、高齢化や担い手不足に直面していますが、ドローン等の新しい技術による作業の効率化・省力化で、人材不足を解決する取組を進めています。

また、県土の約8割を占める森林は、今や人工林の約9割が収穫期を迎えており、森林資源の豊富さは全国トップクラスを誇ります。この利点を最大限に生かし、伐って、使って、植えて、育てる、循環型林業を推進しています。高性能林業機械の導入を支援するとともに、森林によるCO₂吸収量を価値化する森林クレジットの販売も開始しました。

さらに、洋上風力などの再生可能エネルギーの導入やGX関連産業の創出に挑戦しています。宇宙産業においても、民間ロケット発射場を核とした、関連産業の集積に向けた取組を力強く推進しています。

観光産業においては、世界に誇る豊かな文化遺産を強みに、地域に大きな経済効果をもたらすインバウンドなどの誘客、高級宿泊施設などの観光産業施設の誘致に取り組んでおり、県内各地で検討が進んでいます。

こどもたちが誇れる和歌山、ずっと住みたいと思える和歌山が着実に育ちつつあります。これからも、一人一人の個性が輝き、誰もが安心して自分らしく活躍できる魅力ある和歌山を、県民の皆さまと共に創り上げてまいります。

和歌山県知事 宮崎 泉



5/26 令和8年和歌山県知事表彰式にて

●令和 8 年和歌山県知事表彰式を開催しました

「和歌山県知事表彰」は、公共の福祉の増進に大きな功労があった方々や広く県民の模範となるべき方々を称えることを目的として、1953（昭和 28）年に創設した表彰です。これまでに延べ 5,437 名、326 団体の方々を表彰してきました。

5 月 26 日に 74 回目となる「令和 8 年和歌山県知事表彰式」を開催し、感謝の思いを込めて 52 名 4 団体の方々を表彰しました。

式典では、受賞者の方々のお名前を紹介し、各功労部門の代表者の方に知事から表彰状をお贈りしました。続いて、産業の振興の分野で功労のあった、紀州漆器協同組合理事（元紀州漆器協同組合理事長）の冬野泰生さんふゆのやすおに受賞者を代表して御挨拶いただきました。



表彰状授与の様子



冬野さんによる代表挨拶の様子

冬野さんは挨拶の中で、「紀州漆器協同組合が設置した『うるわし館』（海南市）には年間 1,000 人を超える外国人も訪れる。紀州漆器の産地として、世界の人々への発信も積極的に展開し、県の振興に役立ちたい。受賞を励みにして、心も新たに、より一層努力していく」と力強く述べられました。

受賞者の皆さんのこれまでの本県への多大な御貢献に心から敬意を表するとともに、人口減少・超少子高齢化のみならず、AI をはじめとするデジタル技術の急速な進化や国際情勢の緊迫化など、まさに激動ともいえる時代のなかで、県では新たに策定した「和歌山県総合計画」のもと、「笑顔あふれる和歌山」の実現のため、そして未来の県民にも誇れる和歌山を築くため、強い決意と覚悟をもって県政を前へ進めていきます。

なお、今回受賞された皆さんについては、次ページに掲載しています。

■令和8年和歌山県知事表彰受賞者の皆さん

(順不同・敬称略)

地方自治の振興

議員や自治会長などとして長年にわたり地方自治の発展に尽くされた方々

江川 巖／木本 眞次／田代 利彦／辻本 博文／堀江 眞智子

(5名)

保健福祉の増進

民生委員・児童委員や医師などとして長年にわたり地域の福祉や医療、保健の発展と向上に尽くされた方々

飯尾 登喜子／江口 暢洋／岡本 美智子／嶋田 政行／中田 秀則／橋詰 二郎
林 範昭／横山 眞理子

(8名)

環境衛生の向上

生活・食品などの衛生水準の向上等を通じ、環境衛生の充実に尽くされた方

三前 雅信

(1名)

暮らしの安全及び向上

地域の防災、防犯、交通安全指導などを通じ、県民生活の安全を確保し、その向上に尽くされた方々・団体

生熊 伸之／江川 享子／堀田 泰伯／高垣 太郎／豊田 英三／川口 良子／福田 圭子
中畑 利弘／溝上 裕章／下神野地区自主防災組織／覺前 哲／畑中 幹造 (11名・1団体)

教育、文化等の振興

私学振興、文化を通じた地域の振興、青少年の育成、人権啓発の推進などに尽くされた方々

土井 和正／赤井 由賀里／小澤 悦子／櫻井 敏雄／筋師 光博／矢田 嘉秀
住 登志美／外山 葉子

(8名)

産業の振興

商工業、農林業、建設業など各分野での活動を通じ、業界の振興及び育成発展に尽くされた方々

木村 明人／武田 晴夫／玉置 篤／渕上 太志／冬野 泰生／米田 恵一
臼杵 豊／井本 佳志／風神 正典／杉谷 孫司／坂東 紀好／森田 耕司
山田 誠一／片谷 匡／田和 作家／梶 正典／北田 忠史／小原 伸天

(18名)

ボランティア

精力的なボランティア活動により住民福祉の発展に尽くされた団体

花てまりの会

(1団体)

地域おこし

様々な分野での新たな取組により地域の活性化に尽くされた方・団体

田辺・弁慶映画祭実行委員会／辻林 浩／特定非営利活動法人フードバンク和歌山

(1人・2団体)

●「100 億企業創出シンポジウム in 和歌山」を開催しました

海外情勢を含め、不確実で不安定な状況が続き、産業構造も大きな転換期を迎えるなか、県では、積極的な投資や新産業への進出などを通じて、域内取引・雇用の増加、賃金引上げなどの「経済的インパクト」や地域



今年度からスタートしました!!

活性化・地域課題解決につながる投資などの「社会的インパクト」を生み出し、地域の中核を担う企業（「地域中核企業」）を数多く輩出したいと考えています。

そのための取組として、今年度から、売上高 100 億円を超えるいわゆる「100 億企業」などの創出を目的とした、「和歌山県地域中核企業創出プログラム」をスタートさせました。

本プログラムでは、野心的な成長意欲と高い成長ポテンシャルをもつ県内事業者を対象として、高度な経営診断を通じて経営課題や重点的に取り組む分野を可視化し、成長戦略の策定などを支援します。表面的な課題整理にとどまらず、自社ならではの強みに着目した具体的な実行計画づくりまでを、個別集中型で強力にサポートする内容となっています。

5 月 25 日には、本プログラムの一環として、「100 億企業創出シンポジウム in 和歌山」を開催し、県内外から約 150 名の方々に御参加いただきました。



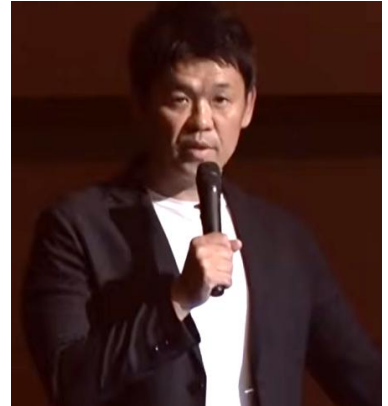
高橋金属(株) 高橋代表取締役社長

シンポジウムでは、金属塑性加工の総合メーカーとして、設計・試作から鈑金・パイプ・プレス加工、組立、輸送・設置までを一貫して手掛ける「ワンストップサービス Plus+」を強みとし、自動車・産業機器分野等に幅広く展開している高橋金属株式会社（滋賀県）代表取締役社長の高橋康之^{たかはしやすゆき}さんに「理念に忠実な全員経営への挑戦」と題して御講演いただきました。高橋さんからは、

「続く会社と続かない会社、成長する会社とそうでない会社の違いは、その会社理念があるかどうか。そして、経営者が従業員に対して、その理念や道筋をしっかりと示すことが必要不可欠である」といったお話をいただきました。

次に、「事業成長を加速させる組織づくり」をテーマに、首都圏・地方を問わ

ず累計 100 社以上の幅広い企業に対して人事戦略のコンサルティングなどを行っている株式会社 ReBoost(東京都)代表取締役の河合聡一郎さんかわいそういちろうに「事業成長を牽引する、経営チームの創り方」と題して御講演いただきました。河合さんからは、「事業戦略が高度化し、対象とする顧客層や競合環境が変化すれば、組織に求められる機能や人材に求められる強みも柔軟に変えていく必要がある」といったお話をいただきました。



（株）ReBoost 河合代表取締役

そして、中小企業庁企画調整室室長の赤松寛明さんあかまつよしあきに「100 億企業創出に向けた施策の方向性」として国の施策を御説明いただいた後、株式会社トイトマ(兵庫県)代表取締役社長の山中哲男さんやまなかてつおのモデレートにより、先に御講演いただいた高橋代表取締役社長、河合代表取締役のほか、株式会社タカショーデジテック(和歌山県)代表取締役社長の古澤良祐さんふるさわりょうすけ、株式会社伊藤農園(和歌山県)代表取締役社長の伊藤彰浩さんいとうあきひろ、株式会社紀陽銀行取締役常務執行役員営業推進本部長の向井守寿さんむかいもりひさという、全国で活躍されている経営者や地域金融機関の方々に御登壇いただき、「『100 億企業』を目指す意味と、『成長の壁』を打ち破るアプローチー地域経済を牽引する次世代中核企業は、いかにして壁を突破するのかー」をテーマにパネルディスカッションを行っていただきました。



パネルディスカッションの様子

企業の成長の裏にあった葛藤やブレイクスルーの瞬間など、登壇者それぞれの経験を交えた話に参加者は熱心に耳を傾けていました。

さらに、基調講演やパネルディスカッションで得た気づきをもとに、登壇者と参加者によるグループディスカッションも行っていました。

参加者からは、「今会社でやっていこうと思っていることと非常に共感できる話が多く、自信を持てた 1 日だった」「今まで以上に社員に対しても取引先に対しても社会に対しても、しっかり価値を提供できる会社を目指していきたい」などの感想が寄せられ、和歌山の未来への確かな可能性を感じられる大変有意義なシンポジウムとなりました。

県では、100 億企業などを目指す企業の皆さんに対し、様々な支援機関と連携しながら、経営力強化につながる集中支援を実施し、引き続きその飛躍的な成長への挑戦を全力で後押ししていきます。

●「第25回わかやま環境賞表彰式」を開催しました

県では、環境保全に関する実践活動が他の模範となる個人又は団体を表彰し、その活動事例を広く県民の皆さんに紹介することで、環境保全に関する意識の向上や行動の促進を図ることを目的に、2002（平成14）年度に「わかやま環境賞」を創設しました。

25回目となる今回は、6つの団体に各賞をお贈りしました。

わかやま環境大賞を受賞された「和歌山県立向陽高等学校理学部」は、罌や網を用いた紀の川流域の魚類相調査、オオクチバスやブルーギルなどの外来生物の駆除、外来生物の増加傾向の分析に基づく適切な管理時期の検討、さらに旧南田井ノ瀬橋の撤去工事に伴って形成された水域が魚類に与える影響の評価（環境アセスメント）などを通じて、生物多様性の保全に継続して取り組んでこられました。

そのほかの受賞団体の皆さんの取組も、いずれも積極的で献身的なものばかりでした。県の豊かな環境を将来に確実に引き継ぐため、環境保全活動が幅広い世代や分野へと広がっていくことを大いに期待しています。

なお、県では、県民の皆さんに環境への理解を深めていただくため、「和歌山県環境ポータルサイト」を開設しています。環境に関する基礎知識や県・市町村の環境施策などを分かりやすく紹介していますので、是非御覧ください。



受賞者の皆さんと知事



■第25回わかやま環境賞受賞者の皆さん

（敬称略）

賞	受賞団体	市町村	功績の概要
わかやま環境大賞	和歌山県立向陽高等学校 理学部	和歌山市	魚類相の調査・公表を通じた生物多様性の保全
わかやま環境賞	有限会社 ヒカル・オーキッド	有田市	産業廃棄物を出さない胡蝶蘭の製造や回収、再利用サービスの提供
	有限会社 深見梅店	上富田町	梅の生産加工において廃棄物ゼロのシステムを確立
	和歌山信愛中学校高等学校 Global Activity Club	和歌山市	外来植物から生分解性のゴミ袋を作る研究
特別賞	一般社団法人 しろにし	有田川町	過疎地域の課題に対して地域内外の人々と取り組むことで活力創出と里山保全を実現
	みなべ町立 高城小学校	みなべ町	地域資源を活かした土壌づくりや農業体験を行うことによる環境保全と地域との繋がりのづくり

●ロボカップジュニア・ジャパンオープン 2026 愛知 サッカーリーグ エントリー部門の全国優勝者が知事を表敬訪問しました！

県では、化学や ICT などの理系人材の育成を目的に、学習意欲の高い生徒の能力を更に伸ばすため、ICT を用いる部活動等の課外活動や探究の授業を支援しています。

この度、ICT 企業からの専門家派遣による支援を受けていた県立桐蔭中学校を主体としたチーム「ハンサムボーイ」が、ロボカップジュニア・ジャパンオープン 2026 愛知 サッカーリーグのエントリー部門に関西代表として出場し、22 チームの中で唯一 6 戦全勝という成績で、見事全国優勝を果たしました。



知事と（右から）鈴木さん、北島さん、田村さん



デモンストレーションの様子

ロボカップとは、真に人間社会に役立つロボット技術を育成することを目的とした、世界 35 カ国から競技者が集う国際大会で、同部門は、ボールから出る赤外線を感知し、事前のプログラミングに応じて自律的に動作するロボット 2 機対 2 機で対戦する競技です。

「ハンサムボーイ」のメンバーは、県立桐蔭中学校科学部 3 年の鈴木 総すずきあまねさんと北島一颯きたじまいぶきさん、そして和歌山市立紀伊中学校 3 年の田村康太たむらこうたさんの 3 人で、桐蔭高校・中学校の科学部が一昨年に関いたロボット教室に田村さんが参加したことをきっかけに結成されたチームです。

5 月 19 日、優勝報告に知事を訪問いただき、ロボカップジュニア優勝実機によるデモンストレーションを交えながらプログラミングの工夫点などについて熱心に説明していただきました。とてもスピード感のあるロボットの動きは圧巻で、メンバーの皆さんが日々練習やプログラム調整などを続けてこられたこと、そして何よりその飽くなき挑戦心に大変感動しました。

皆さんの今後ますますの御活躍を期待しています。

●有田地域でタウンミーティングを開催しました

6月12日に広川町の稲むらの火の館においてタウンミーティングを開催しました。

今回は広川町、湯浅町で地域づくり、農業、観光に携わる方々にお集まりいただき、観光交流の拡大や空き家活用、農業の人材確保、伝統文化の継承などについて現場の生の声を聞かせていただきました。皆さんのお話からは、それぞれの分野で課題や悩みがありつつも、現場での頑張りと努力、創意工夫されている様子が伝わり、とても頼もしく感じました。

頂いた御意見や想いをしっかり受け止め、これからも有田地域の取組を応援していきます。



参加者の皆さんと知事

●企業立地等の実績について（4月下旬～7月初旬）

本県の企業立地等の取組について、先号以降の実績を御紹介します。

引き続き、本県のビジネス環境と生活環境の良さを多くの企業にPRし、本県への企業誘致を進めていきます。

株式会社ドクターブリッジ

東京都に本社を置く株式会社ドクターブリッジが、和歌山市に新オフィスを開設することとなりました。同社は、医療機関に特化したホームページ制作、広告運用、動画制作などをワンストップで提供するIT企業で、「病気で悩む患者と医師をつなぐ架け橋となる」を企業理念に掲げ、各医療機関の強みを徹底的に分析し、地域で一番分かりやすいホームページ制作を行っています。

今回新たに開設する和歌山オフィスでは、ホームページ制作・保守及び顧客対応を行うとともに、地域に根差した雇用創出や育成を進め、医療機関のデジタル活用を推進する中核拠点となることを目指します。

また今後は、全国の医療機関に対してPRから経営支援まで一貫通したサービスの提供を更に拡大することにより、全国の医療DX推進に寄与することが期待されます。

■企業概要

企業名：株式会社ドクターブリッジ

代表者：代表取締役 上田 英之

設立年月：2015（平成27）年7月 / 資本金：1,000万円

従業員数：48名（2026（令和8）年3月9日時点）

事業内容：医療機関を対象としたホームページ制作及び運用
動画制作、SNS 運用等

■進出概要

事業所名：株式会社ドクターブリッジ 和歌山オフィス

進出場所：和歌山コンピュータビジネス専門学校 太田校舎3階

雇用予定：正社員22名（うち地元雇用18名）（3年間）

事業内容：医療機関を対象としたホームページ制作・保守及び顧客対応
操業時期：2027（令和9）年4月



4/24 進出協定調印式にて
（左から）知事、上田代表取締役、
尾花和歌山市長

株式会社ウイズ・ワン

東京都に本社を置く株式会社ウイズ・ワンが、和歌山市に新オフィスを開設しました。

同社は、アプリケーション開発やシステム設計・構築、人工知能（AI）ソリューションを一体的に提供できる技術力と、上流工程から下流工程まで一貫して対応できる体制を有しており、2023（令和5）年には東京証券取引所東京プロマーケットへの上場を果たしています。

今回新たに開設するWakayama Hubでは、システム開発及びAIソリューションを用いて特定の課題解決や業務改善のためのシステム構築を行う予定であり、地域に根差した雇用創出や人材育成、また県内DXの推進にも寄与することが期待されます。

■企業概要

企業名：株式会社ウイズ・ワン
 代表者：代表取締役社長 井手 浩太
 設立年月：1999（平成11）年1月 / 資本金：4,500万円
 従業員数：268名（2026（令和8）年4月1日時点）
 業務内容：アプリケーション開発、システム設計・構築
 AIソリューション
 その他拠点：福岡県福岡市（事業本部）、長崎県長崎市（Nagasaki Hub）
 山口県岩国市（Iwakuni Hub）、秋田県大仙市（Daisen Hub）



5/12 進出協定調印式にて
 （左から）知事、井手代表取締役社長、
 尾花和歌山市長

■進出概要

事業所名：株式会社ウイズ・ワン Wakayama Hub
 進出場所：和歌山コンピュータビジネス専門学校 太田校舎 4 階
 雇用予定：正社員15名（うち地元雇用15名）（3年間）
 事業内容：システム開発、AI ソリューション
 操業時期：2026（令和8）年7月

株式会社オプティム

佐賀県に本店を置く株式会社オプティムが、有田川町に新オフィスを開設するにあたり、進出協定を締結しました。

同社は、“AIであらゆる産業の未来を創造する”というビジョンのもと、産業の垣根を越えたDX・AXのリーディングカンパニーとして、東京証券取引所プライム市場へ上場、近年は果樹や野菜等のあらゆる作物への農業ドローンサービスの提供による農業のDXにも力を入れています。

今回新たに開設される和歌山拠点では、本県のみかんや梅の生産者が農薬散布等の農作業を容易に外部に委託する仕組みを提供するため、農作業プラットフォーム、農作業管理システムの開発、実装を行います。

これらのサービスの提供により、高齢化や異常気象など、産地が抱える大きな課題の解決に貢献するとともに、和歌山拠点を中心にWEBマーケティングや地域に密着した開発を展開し、将来的には和歌山で確立したモデルを全国展開していくことが期待されます。

■企業概要

企業名：株式会社オプティム
 代表者：代表取締役社長 菅谷 俊二
 設立年月：2000（平成12）年6月
 資本金：4億4,543万円
 従業員数：444名（2026（令和8）年4月1日時点）
 事業内容：ライセンス販売、保守サポートサービス
 （IoTプラットフォームサービス等）
 その他拠点：東京都港区、兵庫県神戸市、福岡県飯塚市



4/24 進出協定調印式にて
 （左から）柳シニアスペシャリスト、知事、
 菅谷代表取締役社長、坂頭有田川町長、休坂取締役

■進出概要

事業所名：株式会社オプティム 和歌山拠点
 進出場所：有田郡有田川町垣倉342-5
 雇用予定：正社員7名（うち地元雇用7名）（3年間）
 事業内容：農作業プラットフォーム、
 農作業管理システムの開発、実装等
 操業時期：2026（令和8）年6月

●「なつやすみの美術館 16 もしも“美術”がなかったら」を開催中です

もしも“美術”がなかったら

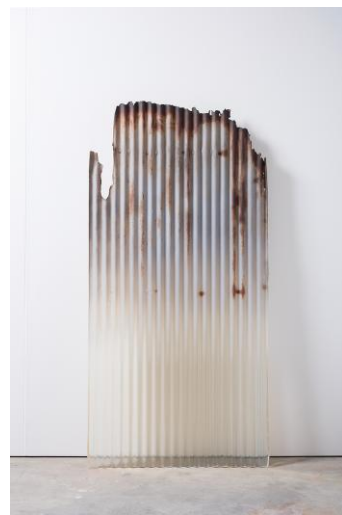
たとえば、絵や彫刻などが無いということ？

たとえば、“美術”という科目が学校からなくなるということ？

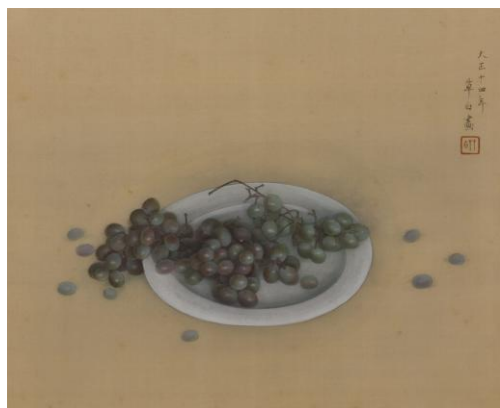
たとえば、みんなで“美術”を楽しむ美術館が存在しないということ？

こどもも大人も一緒に楽しめる「なつやすみの美術館」は、様々な視点から美術との新たな関わりを結んでいただく機会として、2011（平成23）年より継続して開催しています。16回目の今回は「もしも“美術”がなかったら」という問いをきっかけに、私たちにとっての美術と美術館の関係について、皆さんと考えてみたいと思います。

美術館は、その名の通り、“美術”の館です。私たちが美術を見て、楽しんで、そして学ぶために作られた、身近だけれども特別な場所です。美術館に集められている作品のなかには、額に入った絵画や台座に載った彫刻だけでなく、バラエティ豊かな形式のものがありますが、この「館」に展示されることで、私たちはそれらを美術作品として捉えるところから出発します。



大西伸明《totan》2014（平成26）
当館蔵 Photo：豊浦英明



伊藤草白《葡萄之図》1925（大正14）当館蔵

しかし一度立ち止まってみると、美術作品も、ひとつのモノ。色やかたちがあり、美しかったり、あるいは堂々としていたりもしますが、そういったものは美術作品以外にもたくさんあります。では、私たちが“美術”と呼ぶものの正体は、一体なんなのでしょう。もしも“美術”がなかったら、きっとその存在がなくなってしまふ“美術”の館で、“美術作品”を通して考えることはできるでしょうか。

皆さんの答えを探しに、なつやすみの“美術”館に是非お越しください。

会 期 9月27日（日）まで

開館時間 9時30分～17時（入場は16時30分まで）

休 館 日 月曜日（祝休日の9月21日は開館）、9月24日（木）

入 館 料 一般600円（480円）・大学生330円（290円） *（ ）内は20名以上の団体料金

* 高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料

* 8月22日、9月26日（毎月第4土曜日）は、「紀陽文化財団の日」として大学生無料

* 8月2日、9月6日（毎月第1日曜日）は無料観覧日

* 本展観覧料で、MOMAWコレクション「絵画と彫刻」「版画と美術散歩」も観覧可能

●株式会社ローソンから県産食材を使用した商品が発売中です！

県では、発信力のある大手企業に食材提案を行っており、タイアップによる商品づくりを通じて、広く県産食材をPRし、更なるイメージアップとファンづくりに取り組んでいます。

県と株式会社ローソンは、2003（平成15）年に包括連携協定を締結しており、「県産品の活用促進に寄与すると認められる事業」について連携し、これまで県産食材を使用した商品が発売されてきました。

10回目となる今回は、近畿2府4県のローソン店舗（「ローソンストア100」を除く）で5商品が順次販売予定です。さらに、宇宙産業の振興・集積と地域の活性化への取組を応援しようと、株式会社ローソンより、商品の販売1個につき1円をスペースポート紀伊周辺地域協議会のロケット応援事業に寄附いただけることになっています。

皆さん、是非御賞味ください。

■商品一覧（＊既に販売が終了している場合があります。）

＊価格は全て税込みです。

6月9日（火）～

クッキーシュー（和歌山県産レモンのジュレ&ホイップ）… 216円

和歌山県産レモンの果汁入りジュレと、ホイップクリームを生地の中に入れました。サクサクとした食感の生地と程よい酸味のレモンジュレ、甘さ控えめのホイップクリームを楽しめるクッキーシューです。



6月23日（火）～

おろしぶっかけうどん（紀州産梅のしそ梅）… 559円

紀州産梅のしそ梅、大根おろし、蒸し鶏、ごま、ねぎをトッピングした冷しおろしうどんです。



7月7日（火）～

おにぎり弁当（紀州南高梅使用）… 540円

紀州南高梅をのせたおにぎり（1個）、海苔で巻いた塩味の俵むすび（2個）、ウインナー、玉子焼き、ナポリタンスパゲッティ、肉団子、紀州南高梅を使った梅肉ソースをトッピングしたチキンカツをセットにしたおにぎり弁当です。



焼おにぎり（和歌山ラーメン味）… 192円

ご当地グルメ“和歌山ラーメン”の濃厚でコクのある豚骨醤油の味わいをおにぎりで再現しました。豚骨スープを使用して炊き上げたご飯に、コクと旨みが特長の“超特選本醸造こいくち醤油”をベースにしたタレを塗り、丁寧に焼き上げました。



7月28日（火）～

さっくりとしたパイ（和歌山県産レモンのジュレ&バニラヨーグルト）… 225円

さっくりとした食感が特長の生地に、和歌山県産レモンの果汁入りジュレとバニラヨーグルトクリームを入れ、天面に粉糖をかけたパイです。さっぱりとした味わいのクリームをお楽しみいただけます。



●「企業版ふるさと納税」で和歌山県の取組を応援しませんか？

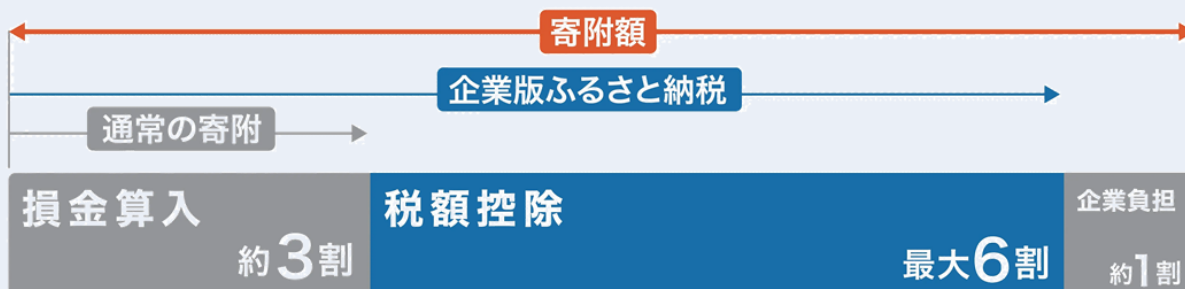
企業版ふるさと納税とは、企業の皆様が寄附を通じて地方公共団体の地方創生プロジェクトを応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられるほか、様々なメリットがある仕組みです。

和歌山県では、この制度を活用し県の地方創生の取組を応援していただける企業の皆様を募集しています。

企業版ふるさと納税とは

- 「企業版ふるさと納税」は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる**地方公共団体の「地方創生プロジェクト」**(*)を応援するために企業様が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。
*和歌山県の主な寄付対象事業(2026年度)は次ページに掲載しています。
- 損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)を含め、最大で**寄附額の約9割にあたる法人関係税が軽減**され、実質的な企業様の負担が約1割まで圧縮されます。

【税軽減のイメージ】



- *本制度を活用できるのは、**和歌山県外**に本社がある企業様のみです。
- *1回当たり**10万円以上**の寄附が対象です。
- *寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。

企業様のメリットについて

- 社会貢献に取り組む企業としての**PR効果**が期待できます！
- 企業様と県との間で、**新たなパートナーシップ構築**の可能性が広がります！
- 県をはじめ、地方創生プロジェクトに関わる多様な主体との新たな関係構築の可能性が広がります！

詳細はこちらから

⇒<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022200/d00204504.html>

お問い合わせ先：和歌山県 地域振興部 地域政策局 地域振興課 企画調整班

TEL：073-441-2371

MAIL：e1001001@pref.wakayama.lg.jp

*電話、メールのほか、訪問対応も可能ですので、お気軽にご連絡ください。





和歌山県の 主な寄付対象事業

本県では、
変化に**挑み変える**要素と、変化に負けずに
守り抜く要素をうまく組み合わせながら、
未来の県民にも誇れる、**新たな発展の形**を
築いていくことを目指しています。



地域防災力の向上コース



「国際化・スポーツ・
文化芸術」応援コース



まちのにぎわい創出・
地域づくり応援コース



持続可能な観光地域
づくり推進コース



未来の地球を守るコース
～脱炭素・循環型社会・自然共生
社会の実現に向けて～



いのちと安全を守るコース
～殺処分ゼロへ。交通事故ゼロへ～



和歌山こども
まんなか社会推進コース



県民の健康応援コース



宇宙へ飛び立て！
スペースエントランス
わかやま推進コース



学びから挑戦へ、挑戦から成長へ！
新たな地域キープレイヤー
創出コース



持続的に発展するわかやまの
農林水産業コース



安全・安心でくらしやすい
まちづくりコース



和歌山らしい教育を
めざしてコース



文化芸術活動・地域
資源継承の応援コース

* 詳細なプロジェクト内容については、
右記二次元コードよりご覧いただけます。



●ふるさと和歌山応援寄附の御案内

ふるさと納税制度は、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として創設されました。

和歌山県では、ふるさと納税制度の原点に立ち返り、「和歌山を応援したい」「この取組を支援したい」というお気持ちから、返礼品を設けずに御寄附を頂く寄附メニューとして、ふるさと和歌山応援寄附【わかやま未来応援型】、【教育環境充実型】と、「和歌山県の地場産品を応援したい」というお気持ちから、返礼品を選んでいただける【県産品応援型】を募集しています。

＊【県産品応援型】では、和歌山県外にお住まいで 11,000 円以上の御寄附を頂いた方に和歌山県の県産品をお選びいただけます。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますようお願い申し上げます。

県産品応援型
教育環境充実型

ふるさと和歌山
応援寄附

さいちゃん
和歌山県民
キャラクター

ふるさと納税のご案内

どこにいても変わらない「ふるさと」への想い

和歌山県で生まれ育ち今は和歌山県を離れているみなさま、
和歌山県に親しみや共感を持ってくださっているみなさま。
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、
さまざまな施策の推進に取り組んでいます。
ぜひ、みなさまも寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。

和歌山県

2026年度

ふるさと和歌山応援寄附
わかやま未来応援型

お礼の品なし

ふるさと和歌山応援寄附「わかやま未来応援型」とは、
ふるさと納税制度の原点に立ち返り、
「和歌山を応援したい」「この取組を支援したい」という
お気持ちからご寄附をいただく仕組みです。

ふるさと和歌山応援寄附は、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」として創設されました。和歌山県では、ふるさと納税制度の原点に立ち返り、「和歌山を応援したい」「この取組を支援したい」というお気持ちから、返礼品を設けずに御寄附を頂く寄附メニューとして、ふるさと和歌山応援寄附【わかやま未来応援型】、【教育環境充実型】と、「和歌山県の地場産品を応援したい」というお気持ちから、返礼品を選んでいただける【県産品応援型】を募集しています。

さいちゃん
和歌山県民
キャラクター

和歌山県

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地
総務部総務管理局税務課

電話 073-441-2186 (直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

ふるさと和歌山応援サイト

検索

ふるさと和歌山応援サイトの
2次元コードはこちら

県産品応援型

教育環境充実型

わかやま
未来応援型



● ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

① わかやま未来応援型（返礼品無し）

- 地域における防災力の向上
- 和歌山県スポーツキャンプ誘致推進
- 大学生等による和歌山県内での地域貢献活動の推進
- 地域づくり団体等による関係人口創出拡大事業の推進
- 「交通空白」の解消・持続可能な地域公共交通の再構築
- eスポーツの推進による新たな若者文化の形成と地域の活性化
- デジタルクリエイティブ拠点の創出
- “脱炭素先進県わかやま”を目指す取組の推進
- こどもの居場所づくり
- チャレンジドの社会参加促進
- 障害福祉分野における介護テクノロジー導入の推進
- 医療と福祉のDX推進
- 和歌山を宇宙のまちにしよう！
- 地域の農地を守り、次世代に引き継ぐ取り組みの推進
- 県アンテナショップ「わかやま紀州館」を活用した県産品の魅力発信
- 希少な和歌山県産ブランド和牛の認知度向上
- 被災農家の経営再建を支援
- 和歌山県農林大学校の学生活動支援
- 和歌山県立自然博物館リニューアル応援
- 和歌山県立近代美術館（MOMAW）の活動を応援し、豊かな文化を創る
- 和歌山ミュージックアカデミー U18

② 県産品応援型

- 生涯スポーツと文化の振興
- がん対策の充実
- 犬猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援
- 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用
- 南紀熊野ジオパークの推進
- 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援
- 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実
- わかやまの美しい海づくり
- わかやまの文化財の保護
- 大切なふるさとの森を守り育てる
- わかやまのナショナルトラスト
- わかやまの農林水産業の振興
- 子育て支援の充実

③ 教育環境充実型（返礼品無し）

- こどもたちの教育環境の充実

皆様から頂いた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

●ふるさと和歌山応援寄附「令和7年度寄附金活用事業実績報告」

ふるさと和歌山応援寄附の取組に多数の皆様の御理解と御賛同を頂き誠にありがとうございます。

おかげをもちまして、令和7年度は1,696名の方から約1億6,963万円の温かい御寄附を賜りました。

また、心温まる力強い応援のメッセージも多数いただきました。紙面をもちまして厚く御礼申し上げます。

お寄せいただいた寄附金は、令和8年度以降の事業に活用させていただきます。

なお、令和6年度までに頂いた寄附金は、次のとおり令和7年度事業に活用させていただきましたので御報告申し上げます。（残りの寄附金については、令和8年度以降の事業に活用させていただきます。）

南紀熊野ジオパークの推進

【寄附金の活用額 628 千円】

紀伊半島南部の大地の成り立ちを明らかにするために南紀熊野ジオパークセンターが行っている調査研究活動（岩石の分析）に活用させていただきました。

がん対策の充実

【寄附金の活用額 8,232 千円】

若年のがん患者が生殖機能を温存するための支援や自宅で療養する際の在宅サービス利用に関する支援のほか、ウィッグや乳房補正下着などの医療用補整具の購入に関する支援など、がん患者への各種支援のために活用させていただきました。

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用

【寄附金の活用額 5,133 千円】

高野・熊野の参詣道をはじめとする世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の維持管理や修繕、災害復旧のために活用させていただきました。



高野参詣道（町石道 17～18 町石）
木橋修繕（高野町）



熊野参詣道（大辺路 長井坂）
倒木撤去（すさみ町）

わかやまの農林水産業の振興

次世代農業リーダー育成事業 【寄附金の活用額 25,054 千円】

幼少期から就農に至るまで継続的に農業教育を実施するとともに、地域農業の発展を目指す青年農業者等の支援に活用させていただきました。

○青年リーダー育成支援 【寄附金の活用額のうち、5,101 千円】

将来あるべき地域農業の姿(将来ビジョン)の立案と、その実現に向けた青年農業者等の取組を支援する補助事業の財源として活用させていただきました。

令和7年度は、農業と観光を融合し、新たな地域収益確保と農業の魅力発信を行うことを目的として、急傾斜の果樹園を舞台にした食体験×非生産型農業事業を採択し、必要となる設備や機器の整備を支援しました。



山頂まで整備した水道



冷蔵庫



食体験イベントとイベントロゴ

○農業教育・研究施設のパワーアップ【寄附金の活用額のうち、19,953 千円】

農林大学校、就農支援センター、農業試験場、農業試験場暖地園芸センターにおいて、教育・研究用の施設機器整備に活用させていただきました。



教育・研究環境充実のために導入した施設・機器

犬猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援

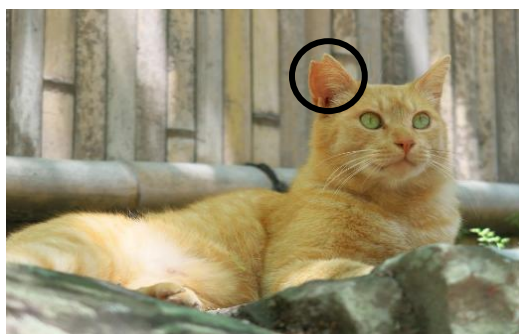
○不幸な猫をなくすプロジェクト 【寄附金の活用額 5,648 千円】

動物と共生する社会づくりのために、地域猫の不妊去勢手術（令和 7 年度実績 1,190 匹）の費用の一部として活用させていただきました。不妊去勢手術の際に目印のため耳先を V 字にカットされた猫は、元の場所に返され地域猫として 1 代限りの命を全うします。

なお、猫の殺処分数は、プロジェクト開始前と比較し、2,478 匹（平成 27 年度）から 93%減の 179 匹（令和 7 年度）と着実に減少しており、令和 2 年度以降は、譲渡可能な猫の殺処分ゼロを継続して達成しています。



不妊去勢手術の様子



耳先を V 字にカットされた地域猫

地元企業への就職を促進する奨学金返還支援

○和歌山県若手中核人材確保強化

【寄附金の活用額 1,481 千円】

本事業に参画している県内企業に研究開発職・技術職として、定着した方への奨学金返還支援に活用させていただきました。

就職フェアの様子



こどもたちの教育環境の充実

【寄附金の活用額 16,599 千円】

県立高等学校や県立特別支援学校や県内私立高等学校の学習用機器等の整備のために活用させていただきました。



教育環境充実のために購入した備品等



わかやまの文化財の保護

【寄附金の活用額 2,319 千円】

県内の文化財の保存や整備のために活用させていただきました。



【国登録記念物（史跡）】
菊池海荘宅跡 土塀復旧整備（湯浅町）



【国指定重要文化財（建造物）】
三郷八幡神社 保存修理（海南市）

わかやまの美しい海づくり

【寄附金の活用額 2,622 千円】

県内の海水浴場の整備や海岸保全施設の修繕に活用させていただきました。



整備中の白良浜海水浴場（白浜町）



整備後の状況

生涯スポーツ・文化の振興

【寄附金の活用額 19,512 千円】

令和8年度全国高等学校総合体育大会開催準備に活用させていただきました。



設立総会及び第1回総会



競技種目別大会ポスター表彰式



高校生活動推進委員会による広報活動

わかやまのナショナルトラスト

【寄附金の活用額 1,457 千円】

県内自然公園の保全活動や維持管理に活用させていただきました。



ボランティア参加による整備
（生石高原県立自然公園）



整備後の状況

子育て支援の充実

【寄附金の活用額 27,943 千円】

こどもたちの居場所や地域の交流の場となるこども食堂を増やすため、こども食堂の新規設立や機能強化に必要な費用の補助として活用したほか、こどもを2人以上育てる家庭の経済的負担を軽減するため、第2子以降の就学前児童に係る保育料等の無償化（第2子は所得制限あり）を行う市町村に対する補助事業の一部として活用させていただきました。

大阪・関西万博教育旅行参加支援

【寄附金の活用額 1,511 千円】

県内のこどもたちが万博会場で持続可能な社会づくりに向けた取組に触れ、未来への可能性を感じる機会を提供するために活用させていただきました。



万博会場でのこどもたちの様子

＊「学校図書館と県立図書館の蔵書の充実」及び「第49回全国育樹祭の開催支援」を用途として指定いただいた寄附金については、ふるさと和歌山応援基金に積み立て、令和8年度以降に活用させていただきます。

本年も引き続き、ふるさと和歌山応援寄附を通じて和歌山県を応援していただきますようお願い申し上げます。

制度の詳細につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」を御覧ください。

また、寄附申出時に公表に同意していただいた方の応援メッセージ等も掲載していますので、併せて御覧ください。



ふるさと和歌山応援サイト

検 索

URL : <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

*** 最新の情報は、主催者等へお問い合わせください。**

イベント情報（8月～10月）



開催日・時期	行事名	場所	問い合わせ先
8月1日	第58回紀州おどり 「ぶんだら節」	和歌山城周辺 (和歌山市)	和歌山市紀州おどり 実行委員会事務局 073-435-1234
8月1日	鹿島神社奉納花火祭	南部海岸 (みなべ町)	鹿島神社 0739-72-4573
8月12日 ～13日	熊野徐福万燈祭 (第64回新宮花火大会)	8/12 徐福公園 8/13 熊野川河川敷 (新宮市)	新宮市商工観光課 0735-23-3333
8月13日	萬燈供養会 (高野山ろうそく祭り)	奥之院参道 (高野町)	高野町役場 0736-56-3000(代)
8月23日	好きやっしょ紀の川！ 夢花火市民まつり 2026	紀の川市民公園多 目的広場 (紀の川市)	紀の川市民まつり実 行委員会事務局 0736-77-2511
9月19日	第50回湯浅まつり	湯浅広港周辺 (湯浅町)	湯浅まつり実行委員会 0737-64-1112
9月26日	日前神宮・國懸神宮例大祭	日前神宮・國懸神宮 (和歌山市)	日前神宮・國懸神宮 073-471-3730
10月2日 ～3日	第38回弁慶まつり	闘鶏神社他 (田辺市)	弁慶まつり実行委員会 0739-22-5064
10月11日	丹生神社例大祭 (笑い祭)	丹生神社 (日高川町)	日高川町観光協会 0738-22-2041
10月15日	伊太祁曾神社例祭	伊太祁曾神社 (和歌山市)	伊太祁曾神社 073-478-0006
10月25日	官省符まつり	丹生官省符神社 (九度山町)	丹生官省符神社 0736-54-2754

自然・風物情報（8月～10月）

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
8月上旬 ～9月中旬	ぶどう狩り	かつらぎ町内観光農園 (かつらぎ町)	かつらぎ町観光協会 0736-22-0300
8月上旬 ～9月旬	観光ぶどう園「有田巨 峰村」ぶどう狩り	有田巨峰村 (有田川町)	有田巨峰村 0737-32-4484 (期間中のみ)
8月下旬 ～10月上旬	シャインマスカット狩り	かつらぎ町内観光農園 (かつらぎ町)	かつらぎ町観光協会 0736-22-0300
9月上旬	あらぎ島 稲刈り	あらぎ島 (有田川町)	清水行政局産業振興室 0737-22-7105
9月中旬 ～11月上旬	生石高原 ススキの見頃	生石高原 (有田川町、紀美野町)	有田川町商工観光課 0737-22-4506 生石高原観光協会事務局 073-489-5901
10月上旬 ～中旬	鷲ヶ峰コスモスパーク コスモスの見頃	鷲ヶ峰コスモスパーク (有田川町)	有田川町商工観光課 0737-22-4506
10月中旬 ～年内	アジアカエビの水揚げ	雑賀崎漁協 田野浦漁港 (和歌山市) 戸坂漁港 大崎漁港 (海南市)	海草振興局 農業水産振興課 073-441-3385
10月	アサギマダラ飛来	西山アサギマダラの谷 (日高町)	日高町役場 企画まちづくり課 0738-63-3806

～編集後記～

サッカーのワールドカップがスペインの優勝で幕を閉じました。スポーツ観戦が大好きな私は、英国で行われていたウィンブルドンテニスとサッカーワールドカップのチャネルを交互に変える日々でした。さあ、次は高校球児を応援したいと思います。

県庁の私の席のすぐ後ろには大きな桜の木があり、蝉の声がにぎやかに聞こえてきます。我が家の冷蔵庫には今、手作りの梅シロップとしょうがシロップが並んでいます。とろりと甘い梅シロップを、こどもたちは牛乳割りやかき氷にかけて使っています。私は新しょうが独特の薄いピンク色をしたシロップを炭酸水で割り、ジンジャーエールとして飲んでいきます。爽やかで暑い夏にぴったりの飲み物です。

毎年6月には、関西各地の和歌山人会による総会が開催され、今年も大阪と神戸で開催された総会に参加させていただきました。各県人会の会長をはじめ役員の方々とお会いし、長年の間つながりを保ちつつ県人会活動が続けてこられたお話を聞くと、同じ和歌山県にルーツを持つみなさんの絆の深さや故郷への熱い思いを強く感じます。神戸での総会ではみなさんと一緒に阿波踊りを踊り楽しく過ごさせていただきました。この場をお借りして県人会総会にお招きいただいていることに改めて御礼申し上げます。

先日、和歌山県立近代美術館で開催されていた「下村観山展」に行ってきました。観山は和歌山市生まれ、明治から昭和初期にかけての日本画家です。私は彼の作品を初めて鑑賞したのですが、その迫力と細密描写の素晴らしさに感動を覚えました。観山展は7月20日に終了しましたが、8月11日からは特別展「蘆雪生動一南紀 無量寺への旅一」がはじまります。和歌山に帰省、お立ち寄りの際には県立近代美術館にもぜひ足をお運びください。

今回も最後まで御覧いただき、ありがとうございました。



知事室 秘書課長 魚井 慎吾



★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ではカラーの紙面を楽しんでいただけますので、是非御覧ください。

和歌山だよりに対する御意見・御感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報を御提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願ひします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp



県ホームページ
二次元コード



ふるさと和歌山
応援サイト二次元コード

2026年（令和8年） NO.191

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026

* 個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。

